

神奈川県病院職員として必要な基礎力

基礎力		I-1, 2	II	III	IV	
一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力（アクシジョン）	主体性	物事に進んで取り組む力 自分ができることを考え、自ら進んで取り組む力	挨拶や仕事の準備・片付けを自ら進んで取り組んでいる	与えられた役割や業務について、疑問に対処しながら取り組んでいる	役割や業務に対して、自ら進んで取り組んでいる	チームに必要な業務や役割を見つけ取り組んでいる
	働きかける力	他人に働きかけ、巻き込む力 他者とかがわりあいながら、目的に向かう力	自分のできていることできていないことを受け止めて説明することができる	業務遂行が困難な時、他のメンバーに協力を求めることができる	チームの協力を得るために必要な手立てを用いて、わかりやすく説明できる	メンバーとともに支えあいチーム活動を推進することができる
	実行力	目標を設定し、確実に行動する力 必要な取組みを行動に移し粘り強く継続することができる力	自分のできていることを伸ばし、苦手なことを克服するための行動がとれる	周囲の状況と安全性を考慮した行動がとれる	目標に向かい順序性と効率性を考慮し、確実に行動できる	状況の変化をとらえ柔軟性をもって対応できる
疑問を持ち考え抜く力	課題発見力	起こっていることの実態を捉え現状を分析し、目的や課題を明らかにする力	自分のわかることとわからないことを明らかにしている	自分と他者の間で起こっている事実を捉え、チームの目標に向けて自分のできることは何かを明らかにしている	チームの状況をとらえ、役割を果たす上での自己の課題をあきらかにしている	部署の現状をとらえ、部署の目標や役割の双方から自己の課題とチームの課題を明らかにしている
	計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力 課題の解決に向けて、自己や周囲が実行可能な取組みを構築する力	自己のできること、できないことを意識して計画が立てられる	チーム内の課題を意識した、自己の行動計画が立案できる	チームで取り組む活動の具体的な計画が立案できる	無理のない適切なゴールを設定し、段階的な計画が立案できる
	創造力	新しい価値を生み出す力 既存の発想にとらわれず、より高い効率性・質向上を図るためのプロセスを丁寧に辿る力	関わり場面を省察し、経験や起こっていることの意味をとらえることができる	看護部の方針、部署の特徴、日々の実践をとおして自分が大切にしている看護に気づくことができる	チームでの取り組みに対し効率性や質向上のための新たな方法を生み出そうとしている	新たな方法を検証し、より洗練された根拠にするためのプロセスを丁寧に辿ることができる
多様な人々とともに、目標に向かって協力する力	発信力	自分の意思をわかりやすく伝える力 自分の考えを整理し、相手にわかる表現、組み立てを用いて伝える力	自分の考えをわかりやすく相手に伝えることができる	チームの目標達成に向けて、自分のできることをチームに伝えることができる	チームで取り組む課題について提案している	患者・家族や医療チームなどに、時宜を得た発信ができています
	傾聴力	相手の意見を丁寧に聞く力 相手の置かれている状況をとらえ、相手をわかろうとかがわり、思いを引き出す力	患者・家族のニーズをわかろうとしている	患者・家族のニーズをわかろうとかがわり思いを引き出している	チームの目標達成に向けて、他のスタッフのアイデアや考えを引き出している	患者・家族や同僚の要望をよく聴き、wantsをキャッチできる
	柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解する力 既存の考え方や方法に固執せず、変化に対応していこうとする力	他者との違いが理解できる	自己と相手の双方の状況を考慮した行動がとれる	チームの変化をとらえて、状況に応じた対応ができる	状況の変化にスピード感をもって、対応できる
	状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力 必要な情報を収集・選択し、事象を成立ちからとらえる力	必要な情報から、継続的に事実を正しくとらえられる	起こっていることの因果関係をとらえ、課題を把握することができる	チームで取り組む課題の優先度をつけられ、取り組むべき方法が検討できる	幅広く情報を求め、部署の取組みに必要な情報を選択し活用できる
	規律性	社会のルールや人との約束を守る力 病院職員として院内のルールを守ること、倫理的行動をとる力	看護部、部署のルールを守っている	職員倫理規範に基づいた行動を意識的にとることができる	倫理の原則に基づいて、状況を判断したり、意思を決定している	臨床倫理指針に沿った、チーム活動をけん引している
	ストレスコントロール	ストレスの発生源に対応する力 ストレスをセルフコントロールする力	ストレスをコントロールできないときは適切な人に相談できている	ストレスを受けている自分を理解し、セルフコントロールしようとしている	危機や問題が発生したとき自分の陥りやすい傾向を理解して対処している	ストレスをセルフコントロールし常に安定感がある
	学ぶ力・教える力	体験を通して学ぶ力 学びのプロセスを楽しみ大切にする力	疑問点を明らかにし、自ら学習している 体験をとおして学び、自分のことばで表現できる 自己目標に向かって主体的に取り組むことができる	場面のリフレクションを通して自己理解、他者理解を深めている QC活動、看護研究活動に参加し成果や学びを共有することができる	研究活動、QC活動結果を日常の実践に活用している 新たなことに挑戦し、そのプロセスを丁寧にたどることができる	事象を概念化することができる 学ぶ機会や研究成果を有効に活用することができる
関係性を構築する力	相手をわかろうとかがわる力	他者の感情や考えを理解しようとしている 必要な連絡・報告・相談ができる 助言を受けチームメンバーとしての役割を実施できる	関係性や行動に与える影響因子を理解し他者とかがわっている チームの中での自己の役割を把握し、他のメンバーと協力できる	相手の意見をファシリテートすることができる 多職種間で互いの立場を理解し調整することができる 自己の感情をコントロールし、他のメンバーに協力・援助することができる	誰とでも、どのような場面においても、アサーティブな関係性を推進することができる 多部門と連携をとり必要な調整を図ることができる	
後輩を育てる力	後輩の経験されている事実を大切に ともに成長できる力	後輩に関心を寄せてかかわっている	学びの環境を整えることができる 日常的な看護について明確な根拠に基づいた指導をしている 自己の関わりが後輩に与える影響を知り指導している	体験を意味づけるプロセスを支援することができる 部署の教育計画の立案・運営ができる	チームで育てるための調整ができる 学習への動機づけを支援できる	